

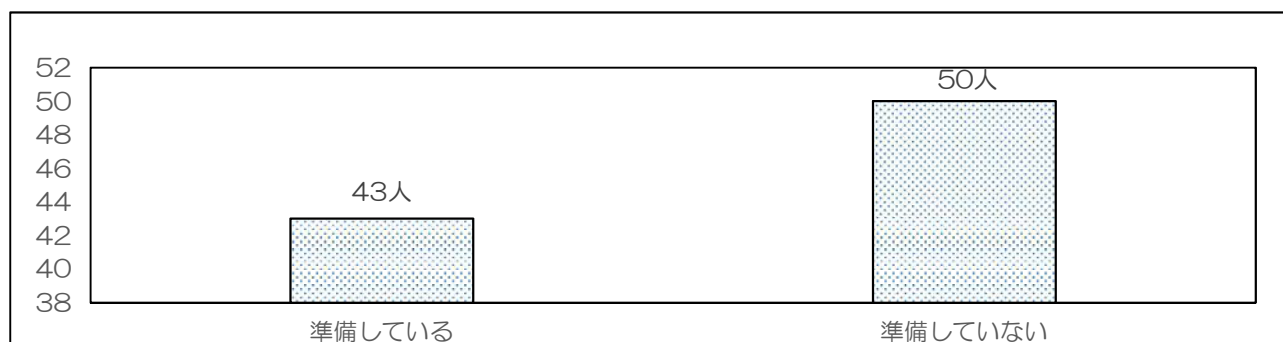
# 「終活に向けて準備していること」 に関するアンケート結果

2020年4月 暮らし見直し委員会(家計簿活動)

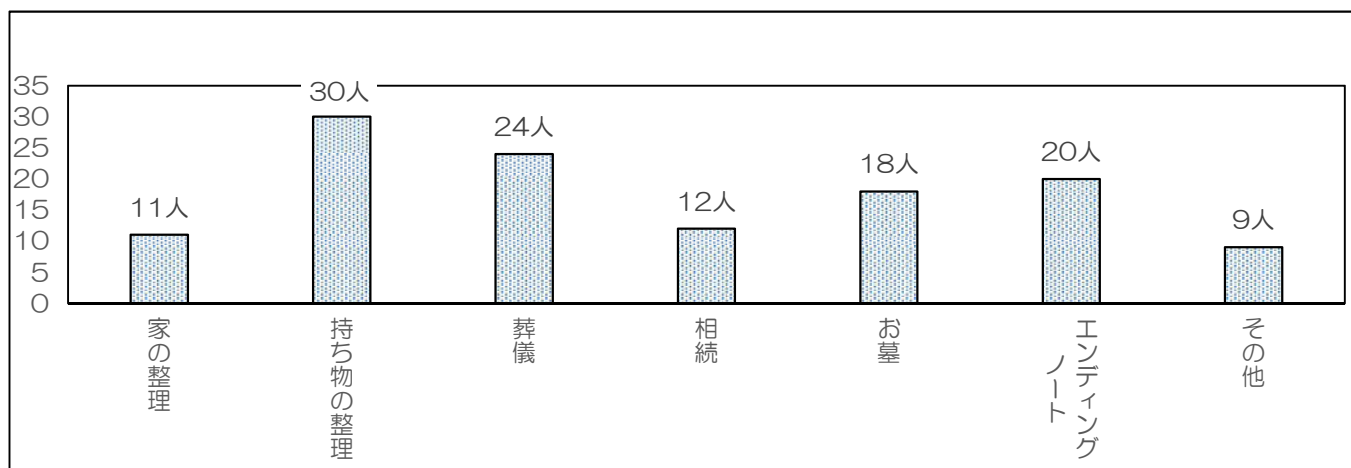
## 1. 記入者の方の年代

| 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代以上 |
|------|------|------|------|------|--------|
| 0人   | 2人   | 7人   | 26人  | 34人  | 24人    |

## 2. 自分や家族の「終活」について準備していますか？



## 3. 準備していることは何ですか？（複数でも可）



## 4. 準備している事を具体的にお書きください

### ①「家」の整理の準備はどのようにされていますか？

- 実家に子ども達は戻らないのが予想されるので、先では処分してもらうよう話している。
- 家具、布団、道具類の断捨離済み。終活に限らず、災害後の災害ゴミの惨状を見ると、極力物は少なくしておきたい。絨毯、カーペット、マット類はすべて廃棄。収納小物のボックス、プラ家具は（もともと持っていないが）絶対に置かない方が良くと思う。
- 帰らないであろう夫の実家、対馬の家は5年ほど前に解体した。子ども達に負の税を押し付けないためです。
- 孫が住むことにすると。娘は時々来ると。
- 処分解体
- 必要ない物は少しずつ整理しています。買い足さないようにしています。
- 家の中の物でいる物といらぬ物を区別し、少しずつ片付けをしている。
- 家の中に有るもの（食器棚、台所、寝具、納戸、書棚、下駄箱）の中の物を全て片付ける。新品の物でも半分くらい捨てた。
- 三人子どもがおり、長男は県外に家を見て、長女は嫁入り先の家があるので、次男に相続させることで家族間の話はついている。夫婦二人暮らしですが、いずれか一人になったら、福岡市に住む次男が帰ってくるそうです。
- 使わなくなった自転車、下駄箱、ストーブ等々、まとめているところ。一括して業者に頼む予定。
- 主人が亡くなった後、住宅や土地の名義変更を4年間そのままにしていたのを、司法書士さんをお願いして変えました。



### ②「持ち物」の整理の準備はどのようにされていますか？

- ゴルフなどの趣味でなくなった物の処分。  
背広などの衣類や靴などの整理。物置の中やずっと使用していない物の処分。
- 親の荷物の整理が大変だったので、子どもに迷惑をかけないようにしたい。断捨離で一度に処分せず、物にも生命があるので、使用しながら徐々に片付けていく。10年に1度は生活パターンの変化があり見直す機会になる。
- 服は70枚までしか持たない。もともと物を集める趣味はないので、小物、装飾雑貨は無い。靴も8足までに減らした。将来的には服50枚、靴5足が目標。
- 断捨離…必要な物を最低限に持つよう、あれこれ買わない、持たない、買う時はよく考える（代用できるか？リサイクルできる素材か？etc…）。
- まずは自分の衣類をゴミとして処分。又は着てくれる人へプレゼント。
- 本…お話会用に子ども用の本は仲間の公民館、活動をしている仲間に。
- 古い家の中に有った食器、寝具等をかなり処分した。夫の大量の本も図書館があるので処分させた。
- 使っていない物、本などもかさばるので、徐々に処分しています。家計簿も5年間を残し、一年一冊減らしています。ずーっと残していたら他の人に見られるのも心配だし、かさばると重たいです。
- 月1回、少しずつ整理しています。
- 不要な物は、捨てたり、フリーマーケットやメルカリ等を利用して処分しています
- 衣替えや折にふれ処分中。

- 服や台所の茶碗類などを処分し始めている。
- 書籍や置物、衣類の整理と処分を少しずつ始めています。できるだけ子ども達の片付け負担にならぬよう、少しずつですが廃棄しています。
- 定期的に断捨離をして、極力持ち物を少なくするようにしている。棚や引出しにラベリングをして、何がどこにあるのか、他人が見てもわかりやすいようにしている。
- 生地が良いので捨てきれないでいたオーバーやスーツ等で、古いデザインのものを、思い切って処分した。
- 価値のあるもの（宝飾品、ピアノ）はどの娘に相続させるか決めていて、それ以外の持ち物は少しずつ処分しています。
- 保険や銀行など、主に私が管理していて夫が把握していないだろうものを、ファイルにまとめてわかりやすく整理しています。

### ③ 葬儀についてどのような準備をしていますか？

- 葬祭場の見学。
- 夫婦、実母共にエフセに登録。
- 三年前に夫の葬儀で互助会にお世話になり、速やかに終えることができたので、「参考に」と言っている。
- 友の会に入会していたが、解約して安価なものへ変更。転勤族の子ども達に負担の少ない形で考えている。家族葬もいいけど、後からお参りに来られるので、規模の小さな一般葬で一度で終わる形を希望している。
- 互助会に入っています。もし私に万が一のことがあれば家族が困ると思うので、小規模のプランにしています（小さい葬儀にしてほしいので）。
- 昨年互助会に入会し、葬儀費用を夫婦二人分積み立てを始めました。葬儀に使わなくても、例えば娘の結婚式場代など使い方は選べるので、貯蓄代わりになると思って決めました。
- 葬儀会社の会員になり、月々積立をしている。（慶事、弔事どちらにも利用できるもの）
- お金だけ。これだけは自分ではどうしようもないのでお任せ。直送で OK。最低 50 万で何とかなるかな…と思っている。※終活は葬儀以上に、介護状態や病気、認知症になった時の準備、備えの方に力を入れておくべきだと思う。
- 積立をしているところ。家族と妹のみで、夫の方には後で報せる。夫の時は家族葬でしたが、夫の親族が多くて（甥・姪まで来るので）大変でした。普通くらいかかりました。広い所でしたためもあり。
- エフコープに 1 名分は 60 万で準備しています。もう一ヶ所、お金のかからない葬儀場を探しています。（家族葬も結構お金がかかるので）皆さん、いろいろと教えてくださいね。
- 長女が葬祭の仕事についているので、それなりの葬儀になると思う。金銭的には準備はできている。
- 希望する葬儀プランを、大まかではあるが夫に伝えている。子どものためにお金を残したいので、シンプルな葬儀が良い。遺影に使えるような写真を何枚か用意している。
- 80 歳を過ぎたらできるだけ簡素に親族だけで送ってもらえたらと思い、金銭的な面と同居していない子ども達のことを考慮し、葬儀社に葬儀と法要の分を積み立てています（夫婦 2 人、月 3,000 円）。できれば家族葬でと夫婦で話し合っています。
- 具体的にはまだです。エンディングノートに書くつもり。急に何かあった時、葬儀代くらいは…と死亡保険をかけています。



- ・葬儀費用としての現金を別枠で預金し、子どもに伝えている。
- ・ベルコの家族葬に積立していて、満期になっています。
- ・家族のみで行うように話しています。
- ・葬儀の希望を作成。(親族・参列者)
- ・息子にどう送ってほしいのか希望を伝えている。身近な人間だけの家族葬で。
- ・4 葬儀社にて、見積もりとお話をしました。母が 100 歳で近いかなと思い。
- ・別に何もしていないが、いつもお願いしている葬儀社さんに電話するように言っています。

#### ④ 相続についてどのような準備をしていますか？

- ・公正証書を作成した(夫の父母)
- ・均等に分割したいと思っている。
- ・家と土地、墓は長男が相続。結婚した二人の娘達にはその他のものを与えると、夫と二人で決めている。
- ・夫婦共働きでしたので、預金は半分ずつの名義です。家・土地は夫の名義ですが、私名義の土地も有り。どちらかが亡くなったら、子どもには譲らず配偶者の相続とする。なお私(妻)が亡くなったら、三人の子どもに平等に死亡保険金が入るよう全額払い込み済み。夫婦ともに亡くなったら、家を継ぐ子に残った財産をやる。書面にはしていないが、子ども達に話している。
- ・金融財産について、夫のみに片寄らないよう分散。いずれかが先に死ぬので。田舎の家と田畑の処分が困る。売れないし広いし、子ども達もいらないうし。特に田が困る。耕作放棄になる可能性。耕作する人も高齢化し、タダでもしてもらえなくなる。
- ・短命の家系なので、元気なうちにお金を使って子ども達と楽しむことにしているため、多くの預貯金は残さず、不動産も数年かけて少しずつ処分していこうと思っています(相続が楽になるため)。
- ・一戸建てが二軒あり、子どもが三人なので取り決めをしているが、今後遺言書を作成の予定。
- ・通帳や生命保険証書は一つの箱に入れていて、同居している娘に教えています。
- ・お金の管理ができなくなったら娘に任せ、死亡したら諸々の経費の残りを娘に任せています。娘と孫と話し合うように。



#### ⑤ お墓についてどのような準備をしていますか？

- ・夫の先祖の墓を福岡に移して新しく建立した。
- ・夫の田舎にある父母の墓(父が自分が入る前に購入したもの)は、対馬という距離的に墓参りに行けない場所。本堂内の一角に供養所があり、そこも持っているので墓じまいをしたいと 10 年前から話を進めているが、夫がいまいち消極的。子ども達に余計なマイナス遺産は残したくないと考えているのに。
- ・ご先祖様のお墓がありますので、その点はありがたいです。
- ・共同墓地の権利を購入し、亡くなった後の連絡先等も伝えるようにしている。
- ・主人が長男で既に実家近くに墓が作ってありますので、そこに一緒にとっています。
- ・私達夫婦の入るお墓を購入しました。娘達が結婚したら継ぐ人がいなくなるので、数年分の管理料を生前に入金しておけば、あとは処分してくれるらしい。
- ・私は散骨を希望していますが、残った家族に任せて。一応お墓はありますが。





- お墓はなし。作るつもりも今のところはなし。ただし、どうしてほしいか（骨）は未定。
- 墓はない。納骨堂（地区の共同）に骨を入れるのみ。
- 納骨堂購入。御霊舎も購入。
- 主人が亡くなった時に納骨堂に入ったので、そこに入れてもらうつもりです。
- 山の中のお墓を全てなしにして（石屋さん、お坊様立ち合いで）、町の中のお寺の納骨堂にお骨を納めた。
- 実家を継いでいますので、お寺さんの納骨堂があります。
- 夫婦どちらかが亡くなったら、その時点で準備。懇意にしている寺に納骨堂をと考えている。金銭的には準備できている。
- 親の墓の管理を見て、子ども達が各々遠方に住んでいるので、あと早くても10年あまりは戻ってこれないので、夫婦間では管理しやすい納骨堂か、樹木葬のあるところを希望しています。まだ購入はしていませんが、チラシや情報はメモしています。

## ⑥ エンディングノートについてどのように準備していますか？

- 一応用意しています。
- 購入はしていますが記入はしていません。
- 取り寄せ、保管しているが、いくら親でも子どもに気持ちを述べるのに抵抗がある。（相続の件は話済み。） 心の中にそっと思う程度で良いと。
- ノートは手に入れました。まずは書いてみよう！と思いつつ…書き直しがしにくかったり、不要なページが多かったり、かわいくなかったり…で書き進んでいません。
- いつも図書カードを頂くので、書店で見たのですが、複雑で…。貯金、保険など一枚の紙に書いて、娘に「ここに」って、言ってます。
- ノートはありますが（3冊ほど）、ちょっと面倒かなと思いますが、少しずつでも書いていかないとと思っています。
- ずいぶん前に流行った時に書いたけど、内容は年々変わるので見直しが必要だと思っていますが、そのままです…。
- パソコン内にあり、時々更新中。
- メモ程度のものはPCに保存。
- リビングウィルの作成をしました。
- エフコープで買ったエンディングノートを使用しています。万が一私が先に死んでも、主人が我が家のお金に関してすぐ把握できるように。（通帳、印鑑、クレカの番号等の場所を記入しています。）
- 自己流エンディングノート作成（私語、役場での手続き、不動産手続先、保険、通帳、連絡先など）。気付いたことを記入して伝えています。（手続きしなければならないこと）
- 一応書いています。過剰医療はしない。散骨のこと。友人、知らせる。
- 中身を全て記載している。
- 昨年の暮れに「家の光」12月号を購入、エンディングノートが付いており、今記入できることについては記入している。
- 夫と妻と各々に書ける事柄から書き始めています。夫は大学ノート、妻は頂いたエンディングノート。死亡した時の臓器の提供に関すること。死亡する前の医療行為に対する希望、特に延命治療の件について。
- 最近エンディングノートを頂きましたので、今からしっかり勉強して残していきます。

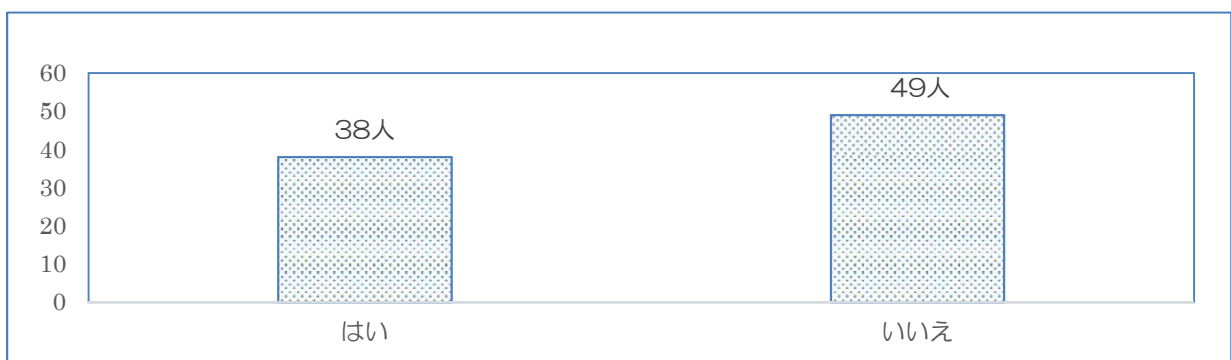


## ⑦ その他、どのような準備をしていますか？

- 帰省の際、それとなく親の老後について話している。
- 終活以前の、介護状態になった時に備えて、PCのID、PW、銀行や保険関係は、家族にわかるように整理しています。
- 通帳は一括し、複数銀行を解約し一本にまとめた。
- 夫と妻の生命保険（死亡）、ある程度の金額は準備しています。
- まだ生きていることの方が専らですが、保険やその他証書等の場所は子ども達に伝えています。
- 配偶者および3人の娘にあて、人生の最後をどう終わりたいかを綴りました。
- 子どもに納骨堂を教えている。
- 家を継ぐ子のために、土地の境界線をはっきりさせるためのブロック塀を積んだ。団地で共有の井戸だったので、先のことを考えて独自で井戸を掘った。
- 死に方も問題なので、元の状態に戻れるのでなければ延命治療はしない。痛みがあればそれだけは取り除いてほしい。
- 年を取って片付けが大変にならないように、物を増やさない。必要な最小限にと…。
- 積極的に準備はしていないが、食器や装飾品など、もうあまり買わないように自制している。
- やりたいことがあれば書き出して、一つずつやっていくようにしている。
- 気持ちの中ではちょっと意識しています。80歳だったらあと何年と逆算して生きていくように。
- 夫は大変な山の中育ち、私は北九州の町の中暮らし。団塊世代でも夫は小1～小6まで同じ1クラス、他の学年は複式学級、私は1学年9クラスと全く違います。息子が1人なので、中学生くらいから、私は海に散骨してと話しています。昨秋お寺の納骨堂にしましたが、夫は私が入ってくれろと思っていたようですが、入る気はないと話しています。息子も関東に12年、名古屋に4年と全国転勤族で、田舎のお寺の納骨堂に何回来られるか、入る気はないしと、今も親子で海と言っています。誰も来ない所に入ってもねと思います。また、息子から私が入らなければ夫が起き上がれなければ自分が葬儀はするが、父親ができるならば自分が起き上がれないから一日でも長く長生きしてほしいと言われています。



## 5. 「終活」について家族と話していますか？



## 6. 家族とどのような事を話していますか？

- 家族葬でしたい。
- 葬儀は誰にも連絡しないこと、お墓の場所、延命処置はしないこと。
- 私は無宗教なので、子ども達には散骨してほしいと頼んでいます。



子ども達は二人共地元を離れるので、負担はかけたくないと思います。

- 墓には入れず散骨希望。供養の気があるのなら小さな甕のようなものに骨一かけらを入れ自室に置き、ナムナムしてと話している。
- 葬儀については、子ども達に我々の希望をエフセ登録していると伝えている。
- お墓は買わない。散骨か樹木葬か納骨堂を買う。
- 娘に「死んだら海洋葬にして。墓はいらない」と言っていますが、残された者が本当に実行できるか（自分が親のことを考えても）怪しい。
- 葬儀の場所、家族葬、延命処置はしない。
- 終末期の治療方法や葬式、お墓についての希望は、折にふれ伝えあっています。
- お墓の必要性を考える。貯蓄の扱い方。家の片付けを少しずつすることなど。
- 墓はどうか？ 葬儀はどうしてほしいのか？ 延命治療はどうか？
- 相続やお墓のことなど口頭ですが話しています。娘達はまだ結婚していないので、いずれは文書等にして継いでいきたいと思っています。
- 家族葬だと 5 人（私・夫・息子・嫁・孫）なので親しい親族には連絡すること、離れた友人には喪中案内、近くの友人には連絡すること。完治見込みがなければ治療はしないこと。持病のある特異体質なので、突然何があるかわからないけれど、意識なしで何ヶ月もはなしにしたい。
- お正月、お盆に子どもらが集まった時に、延命治療のことなど話していますが、具体的に（胃瘻、ペースメーカーetc.）はしていません。
- 認知症になった場合、どうするか？ 一人になって自分の身の回りのことができなくなった時。
- 夫婦のうち一人になったらどこに住むか、最終的に今住んでいる家をどうするか。（娘達が戻ってくる可能性はないので。）
- 実家（空き家）をどうするか、というのが、今一番気になって話し合っているところです。
- 土地や家の相続の件。
- 誰も済まなくなったら家を解体して平地にすること。  
その分のお金を残しておくこと。
- 子どもがそれぞれ家を持ったので、今住んでいる家をどうするか、お墓が近くにあるので、自分達の墓をどうするか、など。
- できるだけ住み慣れた所で生活し、援助が必要になれば支援を受け、不可能になればホーム or ケアへと。
- 介護保険を利用して、家でできる間暮らす。認知症になって困るようになったら、施設に入れるように。過剰医療はしない（書面にしています）。
- この前実家の父母と話したことは、延命治療、介護の場所、今の家はどうか、車の件、お墓、遺影、3 時間くらい話しました。良かったです。
- 義母が亡くなった後、相続でもめないよう、生前贈与をどうするかなど話をしたことがあります。
- 夫と自分達の就活（お墓など）については話し合ったりはする。ただし、本当に話さねばならない父



や夫の父母などとは、全くと言っていいほど話していない。やはり子→親に話すのは、「死」を意識してしまって話しにくい。

- 主人とお互いのもしもの時はどうしてほしいかを話し合い、文書に書き示して、自筆に印鑑を押して保存している。
- そろそろ家の整理をしようと話しています。
- 保険関係全て、どこに、いくら保険に加入しているのか、万が一の時の連絡先番号等、全て箇条書きの一覧を作成し、子どもに渡している。
- ネットのみの銀行口座があることを伝えています。保険証券をなおしている場所も伝えています。
- 娘から、持ち物の処分や、通帳や生命保険の場所を分かるようにしてほしいと言われていました。
- 夫婦の話…日頃から子ども達が集まって交流できるような雰囲気づくりを心掛ける。いつまでも頼りにされるジジ・ババでありたい。入院したり施設に入っても、いつも家族が来てくれる関係を築いておく。
- 夫婦どちらかが亡くなった場合の子育てについて話しています。公的な支援サービスや、子どもに伝えておきたいことなどを夫婦で共有しています。
- 自分の趣味で集めた茶道のお茶碗、壺、皿、置物、花瓶等は「欲しい人がいたらやってくれ」と言いますが、貰ってくれる人がいるだろうかと思えます。



## 7. 今回のアンケートを通じて思う事、考えた事がありましたらお書きください。

- まだまだやらなければいけないことがたくさんあるなと思いました。
- 夫も今年72歳になります。身の回りの整理をしなければいけませんね。
- 今ある荷物（家財道具や洋服）を少しずつ処分しなくては、とは思っています。そのうちにといい思っていました、元気じゃないとできないと思いました。60歳と70歳の夫婦にとっては、終活は身近な問題だということを今回思いました。
- 大事なことであり、残された家族が困らないようにしておく必要を感じます。
- 人生も2/3は終わっていると思うので、そろそろ終活を考えないといけないことに気付きました。早速持ち物の整理を試みたいです（片付けを兼ねて）。
- 還暦を過ぎたので考えなければ…と思っています。
- 子どもがいないので、自分たちのできることは早めにしておこうと思う。
- 万が一はいつ訪れるかわからないので、まずは断捨離したいなあと思いました。
- 更に詳しく、いつ、どうなっても良いように、しておかなければと思った。
- まだまだ自分自身のことは考えていませんでしたが、そろそろ話してみる機会かなと思いました。



・通帳の整理という基本的なことをしていないので、それもしておかないといけないとか、もっと終活に取り組みなればと思いました。

・遺言書も書いていた方が良くと思いました。

・避けては通れないこと。考えなきゃいけないな、と思いました。

・終活をそろそろ始めないといけない年齢になってきているのだと思いはじめました。体調の良い時に少しずつ荷物の整理を始めようと思いました。



・アンケートを切っ掛けに話したこともあったので、良い機会になった。

頭がしっかりとっていて体が元気なうちに、将来のことをやっておかないと、娘達が困ると思う。

・延命措置はしないこと、相続のことなど、折にふれて子ども達へ伝えておこうと思っている。

・自分を含めて周りでも高齢の方が増し、子ども達に負担をかけないようにするにはどうしたら良いか考えていきます。

・実家の「家」のことなど、両親と話し合わないといけないと思います。

・区域委員会の企画で「終活」をしたり、「エフセ学習会」もしました。まだいいかな、と思ったりもするが、いつ、何が起こるかわからない。いつやるか…今でしょ。完璧を求めず、今の私ができる、思う終活をまずしてみようと思えます。うーん…終活っていうか…シンプルに生きていきたいな。

・年齢は76歳と70歳の夫婦共大台になりましたが、どうにか元気に健診にもお互い引っかからずに過ごしていますが、物忘れが少々見られます。現在は災害もいつ、どこで生じるかわからないので、そろそろ準備をと考えています。

・「葬儀は直葬でいいよ」と一方的に伝えていますが、冗談話で受け取っているかとも思うので、しっかりと話しておくべきだと思う。少しずついらぬ物を処分していますが、一軒家の荷物は多すぎます。ペースアップをしていかないといけません。保険やいろいろな書類を整理して、わかりやすくしておこうと思いました。

・終活についてそろそろ考えておいた方が良いとは思いつつ、つい先延ばしにしている。機会を見つけて夫と相談してみようと思う。

・親もまだ若いので、まだピンとこない状態ですが、少しずつ終活について考えた方がいいのかなと思いました。

・意識しないといけません、まだ実行に至っていません。持ち物については一年に数回、衣替えや片付けの時に少しずつ処分し、必要以上の購入は控えるように気を付けています。



・遠距離介護をしているため、親が亡くなったら…と思い、考えること、やることで、今はいっぱいいいっぱいです。いずれ自分も…と思うと、そんなに遠くない終わりについて考えておかねばと感じます。まずは身の回りの断捨離からでしょうか。

・しなければいけないと思いつつ、今は親に終活を進めている状態です。亡くなった後、もめたり困ったりするのは嫌なので…。でも必ずしも順番に死が訪れるわけではないので、少しずつ自分も考えていきたいです。

・自分の実家と話し合いました。長女なのでいろいろ考えて父母に気持ちを聞きました。話ができる時に話せて良かったと思えました。

• まだ少し先のことかな、と思いたいですが、世の中何が起きるかわかりません。災害も多発している  
ので、私自身ができることはやっておこうと思います。子ども達はまだ学生なので、迷惑かけないよ  
うに準備しておきます。

• 子育て世代だからこそ、残される子どもと配偶者のことを想定して  
終活することはとても大切なことだと思います。

先日、友人の旦那さんが30歳の若さで亡くなり、  
終活に年齢は関係がないのだと感じました。

• もっと詰めた話をしておくことと、エンディングノートの作成を始めた。



• 頭が回る70歳代の間に夫婦で意見をまとめ、子ども達にも伝えると同時に、エンディングノートに  
書き残しておきたいと思いました。考えもその時々状況に応じて変化すると思うけれど、書き直し  
を毎年又は半年毎にして、その年齢で合った自分達の決定を伝えられたらと思いました。なるべく早  
くに、いつ、何が起ころうとも大丈夫な対処をしていかねばと考えさせられました。

• エンディングノートを記入しようとしたことがあります。考えないといけないことですが、淋しくな  
って途中でやめてしまいました。

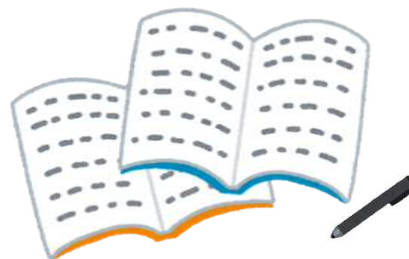
• 実家の父が昨年亡くなり、生前家族で話し合っていたとおりに見送りましたが、家族が納得してい  
ても、他の親族や近所の方には理解してもらえないことがいくつも出てきて困りました。それでも故人  
の望むとおりにできたことには満足しています。何事も自己満足や見栄でやらないことが大事だと思  
いました。

• 一ヶ月前に母を突然亡くしたばかりで、とてもタイムリーなアンケートでした。エンディングノート  
があればどんなに良かったかと思うことが多々あったので、母のことが落ち着いたら、我が家のエン  
ディングノートを作りたいと思っています。

• 正月に家族で話をする予定でしたが、年末に入院、年明けに亡くなり、話ができませんでした。残念  
でした。亡くなった後の手続きがかなり面倒です。(年金関係、銀行、名義変更、クレジットカード、  
スマホの解約、等々)

• 先日義父を亡くしましたが、認知症も患っていたため、本人が望んでいたことが全くわからず、葬儀  
社の方の言われるがままのものとなってしまい、これで良かったのかと今でも思います。やはり生前  
に本人の希望や思いを聞いておくことは大切だと思います。

• これから夫と共にエンディングノートも考えたいと思っていましたので、結果を楽しみにしています。



• 60代前半ですが、両親が元気が良いので、自分達の終活に気が回っていません。もう始めた方が良  
いのでしょうか？

• 母が長い間寝込んで、現在は病院で寝たきりの状態です。私達夫婦二人の就活のことを、細かく考え  
るようになりました。

• 私も主人も母だけいます。主人の母とは同居で何かと面倒を見ていますが、母から終活のことは一切

聞いていないし、聞けないです。私の母は一人暮らし。自由気ままで、何かあったらどうしようか…と思うばかり。納骨堂とお寺と少し考えようとも思いました。

• 今は義母が具合が悪くて、もしかすると近々亡くなるかもという状況なので、まずは義母を送ってから自分達のことを考えようかという話をしています。順番通りとは限りませんが。

• まずは親からと思って少しずつ動いています。  
お墓についても話したいのですが…こっちの方が難しいです。

• 自分のことも不安だが、義父母のことも気になる。  
本人たちの希望通りにいけばいいのだけど…。  
(聞いた方が良くと思うけど、立場上言えない。)

• 義父母 93 歳、91 歳。縁起が悪いと入院用品も用意しない義母。  
葬儀のことなんて嫁から言えるわけなく主人任せ。  
義妹からのクレームが目に見えているのに。はっきりさせてほしい。



• 心で思っていること、子ども達に話していることを文書（遺言）に残すべきかもしれませんが、まだそこまでは……。老後 2,000 万必要と言われる世の中、子どもに心配や迷惑をかけないよう、健康づくりに心掛けたい。

• 「終活」について気にはしていますが、なかなか実現できません。子どもが 2 人いますが、遠くに住んでいますので揃うことがありません。でも急がなければと思っています。

• 考えてはいるけど、まだ何も手を付けたり、話し合ったりもしていない。子どもがいないので、今年にはと考えているところです。

• もうお互いに 70 代になるので、そろそろ死後のことを考えないといけないけれど、子どもがいないと誰に託すか、特に残った方が大変だと思います。

• 病気になったり 70 歳になったら、持ち物の整理などしたいと思う。

• 50 歳を過ぎ、実家のことなども含めていろいろと考えます。  
月々の生活に追われてなかなか事が進みませんが、  
この先困らないようにしたいと思っています。

• 家の整理をしたいと常々思っているけれど、捨てられない性格で悩みます。

• この先本当に必要な物だけを購入すること。できるだけ子ども達に迷惑をかけないように、元気うちに終活をしたいと思っています。でもなかなか捨てられないのが本音です。

• 今 70 歳ですが、この一年で肺ガン、胆管ガン、大腸ガンで、72 歳、70 歳、67 歳の友人が亡くなりました。本や CD 等と、編み物、パッチワークの材料等整理していないのですが、やらないといけないかなーと思いつつ、胸の中の悲しさ、寂しさにまだ取りかかっています。あっという間に月日は経ちますから、早くとは思っていますが…。

• 80 歳、75 歳でもう遅いくらいなのに、何度言っても他人事のように思っている。私は、衣服やアルバム、手芸の生地など、少しずつ処分しています。

• そろそろ終活を考えなければというかも遅いくらいですが、主人は全く気にせず、いざとなれば整理はプロにお任せすればいいと言います。お墓は主人の実家の墓があり、一緒に入るつもりです。相続などは子ども達も交えてとは思いますが…。



- 両親もいないのですが、まだちょっと早いかな？と思います。
- 夫の実家は両親も亡くなり、誰も住んでいません。中を片付けるのはとても大変でした。家は傷むし、庭は草や木が伸びるし、相続するのも大変です。私も終活を考えた方が良いでしょうか？
- 夫が高齢（92歳）なので、あまり終活の話をして、もしかして死ぬのを待っていると誤解されるのも嫌だし傷つけないので、縁起の悪い話はしたくないし前向きな生活をしているので、終活とは無関係に過ごしている。
- 100歳まで生きる準備をしています。健康、お金、覚悟など、あえて終活はしないでおこうと思っています。



- 自宅で亡くなるのが理想ですが、現実には無理だと思います。配偶者に負担をかけたくないです。将来的には富裕層の人しかホームに入所できないのではと心配しています。
- 物に溢れた中での生活、それを減らすため、譲り合いの場があったらいいなと強く感じる。バザーをする気力はなし。捨てるにはもったいない新品の物（貰い物）がたくさん。
- 実母は特養で存命（97歳）。まだ生きそう。空き家の実家の中はかなり片付けてガラガラの状態。交通の便の良い所にあり、家もコンパクトだから、いずれ引っ越したい。しかし、広く交通の便の悪い自分の家の処分をどうしたものか、困っている。売れない物件。
- 土地だけ残っても不便な所なので売れないし、息子も困るだろうな…と。
- 先日、毎年行くお寺の節分祭で法話を聞き、直葬の話が出ました。親は子どもに「直葬でいい」とかいうもんじゃない、きちんと見送らせるべき、と話してありました。賛否両論ありますが、故人の友人からしたら「見送りがかった」と思うだろうし。あと残された者が一番困るのはゴミ屋敷。私の場合、きれい好きな父と物を溜め込み片付けない母がおり、その母は反面教師ですが、私がきっと死後の後片付けに参るだろうなと、今から戦々恐々です。